

# ICT支援員だより

平成28年度 第4号  
平成28年11月1日 発行



ICT導入モデル校である向原小学校、向原中学校に電子黒板などの機器が整備されてから1年が過ぎました。また、9月より吉田小学校、美土里小学校にも機器が整備され、日々の授業で多くの教科にわたってICTの活用がされています。今は、教員による活用が主ですが、少しずつ児童生徒の活用にも目を向けて、活用していただきたいと思います。

## 実物投影機について



モデル校の向原小学校と向原中学校に整備されている物とは違う実物投影機を今回整備しました。その理由や意図について説明したいと思います。

大きな理由として、モデル校でICTの活用をしていく中で、先生方から、子どもたちのノートを机間指導の中でその場で全体に提示したり、ノートや作品などを並べて表示し、比較して見せたりできないかという意見がありました。

始めはタブレットを使って行うことも試みましたが、準備や操作するのに覚える手順が多く、もっと簡単にできないかということから、この機器を導入することになりました。

この実物投影機は、プロジェクターやテレビなどに受信機をつなぐことで、実物投影機に線をつなぐ必要がなくなります。そのため、パソコンやプロジェクターのある場所に戻らなくても、受信機に電波が届く範囲であれば持っている実物投影機で操作や書き込みができます。



また、先生は机間巡視の時に、子どもたちに全体で共有したいと思えるノートやプリントなどを写真撮るように撮り、SDカードに保存することができます。そして、保存した写真から複数選択することで、1つの画面に並べて表示することもできます。

## 例えば

**机間指導** で見つけた  
子どものノートを共有

持ち運びができるので、机間指導中に見つけた児童生徒のノートやプリントをすぐに全員で共有することができます。

動植物の **観察** で活用

小さな観察物を児童生徒みんなで大画面で観察することができます。自由な角度で撮影でき、対象物を多面的にとらえることができます。



スタンドに固定して使用することで、教科書やプリントや教具を大きく見せ、共有することができます。指示の明確化や理解促進に効果が期待できます。

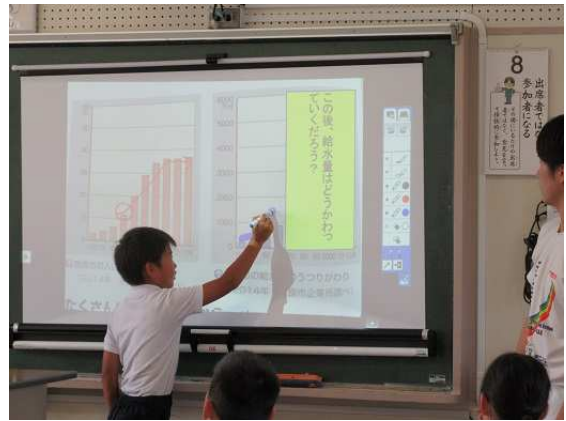


記録した映像を共有しながら、詳しく分からなかったところを確認したり、動きなどの改善点などを指導でき、話し合い活動などに生かすことができます。

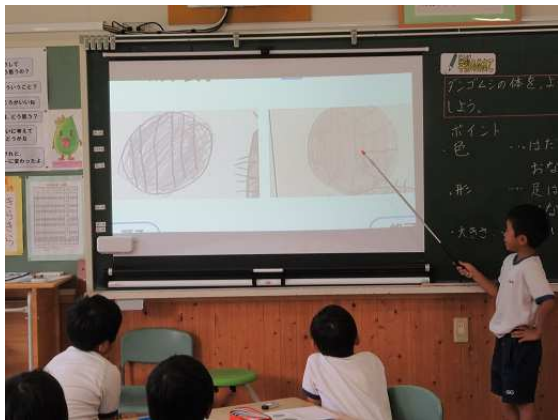
# 実物投影機の活用例



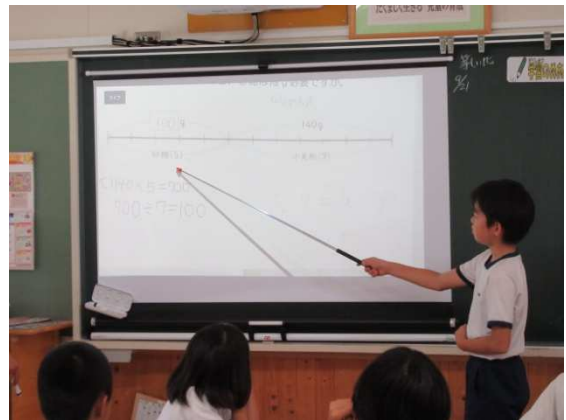
合同な三角形を書いているところを電子黒板で拡大表示しています。



教科書などの資料を一部隠して、子どもたちが考える工夫をしています。



観察して書いた絵を2つ並べて表示し、違いに気付くようにしています。



グループで考えたプリントを実物投影機で撮り、電子黒板に表示しています。

これまで隔月で発行していましたが11月号から毎月発行していきたいと思います。次号は12月に発行します。

